

浦上キリシタン流配碑建立 100 周年記念事業のご案内

今から約 160 年前、はるか遠い長崎浦上村から約 3400 人の信徒が西日本各地に総流配されるという事件が起きました。このうち、86 人が郡山藩へ流配されました。この事件は幕末から維新期にかけて起こった日本の宗教史上特筆すべき事件でした。現在、教会境内に建つ流配碑は 1926 年ヴィリオン神父によって雲幻寺（現、良玄禅寺）に建立された墓碑に起源を持つもので、今年で 100 周年となります。

この碑には多くの人々の思いが込められていると共に、人間の基本的な人権の一つである「信教の自由」を知る上において欠かすことのできないものです。

そしてこの流配碑は教会の財（たから）、信仰の拠り所、地域の貴重な歴史的文化財です。私たちは、この流配碑を守り、その意義を広く多くの人に伝え、未来へ引き渡していきたいと思ひます。

皆さんのご協力・ご参加よろしくお願いしします。



浦上キリシタン流配碑建立 100 周年

2026 年 11 月 3 日（火・祝日）雨天決行

大塚喜直司教 記念ミサと祝別 京都司教区司教 9:30 ~ 	ヴィリオン神父 慰霊碑建立者 パリ外国宣教会神父  エメ・ヴィリオン神父 (1843~1932) フランス人宣教師。1868 年（明治元年）10 月に来日。当時はまだ「キリシタン禁令」が解かれておらず、外国人宣教師の行動や布教には厳しい制限があった。その後神戸・山口・京都などで布教の傍ら、キリシタンの史跡の調査研究を行い、各地に記念碑を建てると流配者の顕彰に努める。1925 年奈良教会主任司祭の時、大和郡山市の聖安寺で信徒の墓を見つけ、慰霊碑を建てた。1932 年体調を崩し、旧川口居留地の川口天主堂（現在大阪府西區、川口教会）で、一度も滞国することなく 4 月 18 歳で満天。	高木慶子シスター 記念講演 「信教の自由と浦上信徒」 11:00 ~  高木 慶子（タカキ ヨシコ） 援助修道士 1936 年熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。上智大学グループケア研究所特任所長。「全国生と死を考える会」会長。兵庫「生と死を考える会」会長「日本スピリチュアルケア学会」理事長。30 数年来、ターミナルケアに携わり、現在「全人」研究を立ち上げ人材育成に尽力を図る。幕末のキリシタン指導者高木仙右衛門は曾祖父にあたる。
---	---	--

パネル展 / 長崎から奈良「郡山藩」 / 市内で発見された観音像



市内で発見された観音像





大和郡山などから浦上に帰還した流配者

© 浦上キリシタン資料館

11 月 3 日（火・祝日）雨天決行 当日の予定

時 刻	内 容	場 所 ・ 補 足
9 時 00 分	受付開始	大和郡山教会入口、記念誌配布
9 時 30 分	大塚喜直司教司式による記念ミサ	聖堂
10 時 00 分	祝別・祈り・幼稚園園児による歌	教会流配碑付近
休憩時間	パネル展示見学	教会ホール、浦上キリシタン資料館よりデータ提供
11 時 00 分	高木慶子シスター講演	演題「信教の自由と浦上信徒」
講演終了後	解散	必要に応じて案内・誘導

【お問合せ】

カトリック

大和郡山教会

Fax 0743-55-3036

大和郡山市城南町 1-33
近鉄郡山駅西へ 5 分